

【パネルディスカッションテーマ】

テーマ 1：本市のまちづくりにおける課題と官民連携の取組

テーマ 2：官民連携を進めるにあたっての課題

【主な発言内容】

○（かほく市長）油野 和一郎 氏

かほく市では、人口減少・少子高齢化対策として、総合戦略に基づき各種施策に取り組んでいる。特に、行政と民間が一体となり、南部交流ゾーンにおける地域活性化の拠点づくりを推進している。また、上下水道の包括民間委託や道の駅の指定管理等を実施しており、コスト削減効果とともに質の高い住民サービスの提供を実現している。今後とも官民連携事業を積極的に推進し、より一層住みよいまちづくりを目指したい。

○（小松市長）和田 慎司 氏

小松市では、ひとづくりに重視したまちづくりを推進している。その一環として、公立小松大学の整備や、JR 小松駅周辺における“学びと交流”の場づくりを推進中である。今後は、ICT 等の新たな技術を積極的に活用して、公共インフラ整備・維持管理における生産性の向上を目指したい。そのためには、先進的な技術に対応できる人材育成を、官民ともに取り組む必要があると感じている。

○（野々市市長）粟 貴章 氏

野々市市では、市民や民間企業とともに、衰退する中心市街地の再整備等の面的なエリア活性化に取り組んでいる。官民連携の取組について、本市のような地方都市において、民間企業の独立採算による官民事業の成立に難しさを感じている。今後は、市民、企業、行政それぞれにメリットを享受できるような官民連携事業の形成を積極的に検討したい。

○（見附市長）久住 時男 氏

見附市では、市民ボランティアによる公共施設の維持管理を積極的に支援している。また、道の駅やコミュニティ銭湯において指定管理を導入しており、民間ノウハウによる質の高いサービス提供を実現している。一方で、市民活動の意欲の継続性や官民連携事業への企業の参入意欲の向上等を課題と認識している。今後は、市民や議会の理解醸成、自治体職員の意識醸成の双方を行いつつ、官民連携の取組を進めたい。



【官民連携（PPP/PFI）事業の推進に向けた首長意見交換会】



【（かほく市長）油野 和一郎 氏】



【（小松市長）和田 慎司 氏】



【（野々市市長）栗 貴章 氏】



【（見附市長）久住 時男 氏】



【（金沢大学 理工研究域 教授）
高山 純一 氏】



【（青山学院大学 会計フロンティア研究科 准教授）
山口 直也 氏】